



よもやま話に花が咲く。えきんぐらがお届けする小ネタ袋。

蔵通信

二四号
2010.11



第二十三話

本懐を遂げてなお...

絵金百話

シリーズ

発行：絵金蔵運営委員会
発行日：2010年11月30日
〒781-5310
高知県香南市赤岡町538
Tel.Fax 0887-57-7117
ekingura@mxi.netwave.or.jp
http://www.ekingura.com/



INFORMATION

公共建築賞優秀賞受賞!

絵金蔵は今年5月、社団法人公共建築協会が実施する「第12回公共建築賞」優秀賞を受賞しました。

公共建築賞は、より優れた公共建築を生み出すため、昭和63年より1年おきに実施、完成後3年以上を経過した建築を対象に、使用実績などを含めて評価・審査し、選考されるものです。四国地区では絵金蔵のほかに「香川県立東山魁夷せとうち美術館」、「松山中央公園プールアクアパレットまつやま」も優秀賞を受賞しましたが、絵金蔵は、

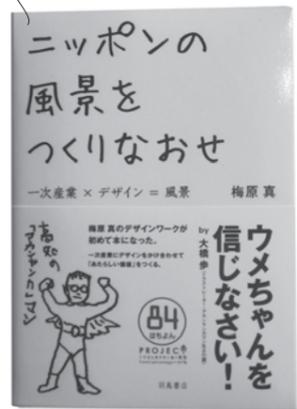
- 町の古い米蔵を収蔵・展示施設に再利用したこと
 - 長年にわたる住民主体のワークショップを通じて実現した事業であること
 - 住民やボランティアスタッフの積極的な協力
- などの点が高く評価され、最高順位をいただきました。

建築デザインに加え、絵金蔵がどのように生まれ、どのように運営されているかを含めて評価されたといえます。今回の受賞をきっかけに、町のみならず育んだ絵金蔵をよりいっそう大切にしていきたいと思っています。



絵金蔵
設計 若竹まちづくり研究所・聖建築研究所
竣工 2005年2月

SHOP INFORMATION



定価 ¥2,730

ユタカさとは
梅原真氏のデザイン・ワークが一堂に見られる初めての本。赤岡のまちづくりワークショップの過程で生まれた路上観察記録『犬も歩けば赤岡町』は梅原氏のデザインによるもの。この本が生まれるまで、また絵金蔵の展示コンセプト、須留田八幡宮宵宮祭りの間の仕掛けなどなど、赤岡のまちや絵金蔵のヒミツが梅原氏の膨大な仕事を通じて浮かび上がります。



定価 ¥2,500



定価 ¥600



定価 ¥1,200

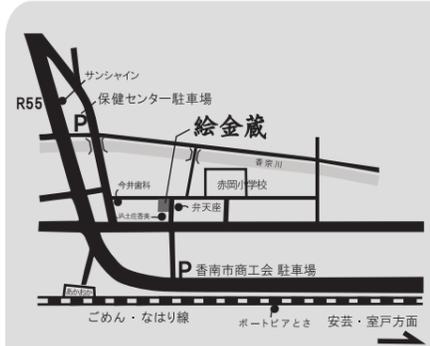
ショップのみのご利用も歓迎!



限定Tシャツ&手ぬぐい

昨年より、絵金蔵限定のグッズ販売がはじまりました。製作は絵金蔵実行委員会、売り上げの一部は芝居絵屏風の保存・修復に当てられます。図柄は毎年、絵金蔵で絵金歌舞伎伝承会が行う演目に合わせてつくられます。今年は「伽羅先代萩 御殿」の政岡と八汐。なくなりしだい、販売終了となりますので、どうぞお早めに!

【絵金蔵】
開館時間
 午前9時～午後5時
 (入館は午後4時半まで)
観覧料
 大人500円、高校生300円
 小・中学生150円
 (15名以上の団体は各50円引き)
休館日
 毎週月曜日
 (月曜が祝日の場合は火曜)
 12月29日～1月3日



幕末土佐の芝居絵師・金蔵(通称・絵金)。彼は土佐各地の祭りに多くの芝居絵屏風を残しました。絵金蔵は、平成17年2月、赤岡の地に残る23点の芝居絵屏風を収蔵・保存するために作られた施設です。

絵金蔵の三つの使命

- ：縁結び地域を超えて世代を超えて
- ：伝承の世代へ伝えるため
- ：年に一度絵金の文化を守るため

絵金百話

第二十三話 本懐を遂げてなお…

ちゅうしんにどめのきよがき てらおかせつぷく
忠臣二度目清書 寺岡切腹

< 概要 >

『忠臣二度目清書』は寛政10年（1798）8月、江戸・豊竹座で鳥亭焉馬作の
人形浄瑠璃として初演され、寺岡切腹の段のみが後世に伝わりました。元禄15
年（1702）に起こった赤穂浪士の仇討ちは、早くは刃傷沙汰が起こった同じ月
に舞台をにぎわせたと言われ、上演が確認できる最初の作品は歌舞伎では元禄
16年（1703）近松門左衛門作『傾城三の車』、人形浄瑠璃では同年10月錦文流
作『傾城八花形』があります。寛延元年（1748）8月、これらの「忠臣蔵物」の
代表作『仮名手本忠臣蔵』が竹本座にて初演、ついで明和3年（1766）10月、
『太平記忠臣講釈』が上演され、以後の浪士劇に大きな影響を与えました。

本作ももちろんこうした「忠臣蔵物」のひとつで、鎌倉時代に仮託しながら
その実は討ち入り後の後日談となっています。主人公となる寺岡平右衛門は、
実在した赤穂浪士・寺坂吉右衛門信行（1665-1747）がモデル。吉右衛門は足
軽頭吉田忠左衛門組下の足軽で、軽い身分ながらも敵討ちの義盟に加わり、義
士の連絡役をつとめました。元禄15年（1702）12月14日、吉良邸討ち入りの
当日に姿を消しました。大石内蔵助はこの件について「寺坂吉右衛門儀、十四
日暁までこれあり候ところ、彼の屋敷に見え来らざる由、かろき者の儀、是非
に及ばず候」（寺井玄溪宛書翰）と記しています。一方、吉右衛門は討ち入り
に加わったのち、密命を受けて書状を届けるために立ち退いたという噂もあり
ました（『堀内伝右衛門覚書』）。吉右衛門を討ち入りに加わった義士とする
か、逃亡をした不義士とするか、佐藤直方、太宰春台、室鳩巢、荻生徂徠ら儒
学者たちの間で議論が生じたといえます。その後の吉右衛門は吉田忠左衛門の
親類に仕えたのち、延享4年（1747）江戸で83歳の生涯を閉じました。今日で
も吉右衛門が活躍する時代小説がいくつか刊行されており、今年12月にはNHK
でドラマ化された池宮彰一郎原作の小説『最期の忠臣蔵』の映画版が公開され
ます。

絵金は本作を悲しみがほとばしるように描き切っています。中央に大胆なポ
ーズで描かれた寺岡平右衛門、右には身をのけぞらしながら必死の形相で位牌
を受け取る大星由良之助（大石内蔵助がモデル）の妻がいます。絵金が語るも
う一つの義士の物語、どうぞお楽しみください。

*参考『歌舞伎登場人物事典』2006年5月 白水社

町みんなの

生命（いのち）の記憶

町の方も写真を提供して下さいました。今回の
写真展。田辺先生の写真とともに、商店に
飾ったなかから、町の風景が写し取られた
昭和三〇〜四〇年代の写真を紹介します。



現在のうち電気店。



横町の江内ラジオ店。



現在の横町通り。



現在の国道55号線ができる以前、車でひしめきあう横町通りのカーブ地点。

ここにも懐かしい
風景があります



赤岡町制施行100周年記念
写真集『ユンダーホー赤岡』
赤岡町、2000年3月



現在の通り。



神祭のおなばれの様子。
本町2区、旧野島酒店より。



現在の赤岡橋。



赤岡の町の玄関口、赤岡橋。
ユニークな欄干はさぞ目だった
ことでしょう…

熊本市現代美術館における

芝居絵屏風の変色事故について

今年七月、熊本市現代美術館企画展「へるんさんの
ひめぐと」に出陳するため当館より貸出された芝居絵
屏風五点が、熊本における展示前の燻蒸により変色す
るといふ事故が起きました。原因は燻蒸剤の選定ミ
スによるものです。

熊本市現代美術館は、この事故に関し全面的な謝罪
を行い、誠意を持って修復に当たることを表明してい
ます。

現在、作品は移動のリスクを最小限にとどめるため
熊本市現代美術館に保管されており、今後は薬剤の作
品への浸透の度合いや影響をはかる調査が行われる予
定です。こうした調査の結果をもって、二次的な
被害が起きぬよう、今後も所蔵家で構成する赤岡絵金
芝居絵屏風保存会、作品の寄託を受けている香南市、
香南市より指定を受け絵金蔵の運営に当たっている絵
金蔵運営委員会が協議を重ね、専門家のアドバイスを
受けながら慎重に修復を進めていく所存です。

本件に関して、多くの皆さま方からご心配や励まし
のお言葉をいただきました。まずはこの場をもちまし
て、心より御礼申し上げます。

絵金蔵運営委員会



斧定九郎
白描 / 紙本墨画 / 香南市・個人蔵

お軽の父と市兵衛を殺し金を奪うが、猪と間違われ早野勘平に撃ち殺される斧定九郎。



仮名手本忠臣蔵 三段目 道行旅路の花婿
二曲一隻屏風 / 紙本着色
南国市・片山公民館蔵

お軽をつけてきた高師直の家臣を早野勘平が追い払う。



仮名手本忠臣蔵 十一段目 高家討ち入り(部分)
横幟 / 紙本着色 / 高知県立美術館

近年所在が確認された横幟。作者不詳。全長は18m近くに及ぶ。討ち入りのクライマックス、炭子屋から引き出された高師直を四十七士が囲む。

人気狂言として今日まで受け継がれる忠臣蔵。江戸時代では、どんなに不況の折でも『仮名手本忠臣蔵』を上演すれば大当たりを取るの、「独参湯」(気付薬、起死回生の意)とまで称されました。土佐においても人気は高く、芝居絵屏風のほか、白描、絵馬提灯、横幟など様々な形態に描かれており、現在伝わっている芝居絵のなかでも最も数の多い演目のひとつです。

絵金や弟子たちによる個性豊かな「忠臣蔵」をご紹介します。

土佐の民衆が愛した忠臣蔵



太平記忠臣講釈 六段目 七条河原惣嫁宿
二曲一隻屏風 / 紙本着色
高知県立美術館蔵

貧しい一家を救うために街娼となったおりゑと、その夫矢間重太郎が再会する。



仮名手本忠臣蔵 七段目 祇園一力の場
二曲一隻屏風 / 紙本着色
高知市・春野町新川自治会

遊びに暮れる大星由良之助を斬ろうとする矢間重太郎らと、それをなだめる寺岡平右衛門。



図太平記実録代忠臣蔵 序
絵馬提灯 / 紙本着色
高知県立美術館蔵

高師直が横恋慕する塩冶判官の妻、顔世御前を覗き見する。



仮名手本忠臣蔵 三段目 足利館裏門の場
二曲一隻屏風 / 紙本着色
香南市・山北浅上王子宮

切腹しようとする早野勘平を引きとめ、嫁入り姿で共に暮らそうとせがむお軽。



安芸市・川北大師堂 夏祭り風景

大師堂の脇に絵馬台を立て、芝居絵屏風5点と「仮名手本忠臣蔵」の枠張絵12点を飾る。

(財)高知新聞厚生文化事業団助成事業
香美市立美術館・タマリン館・絵金蔵3館連携企画

生命(いのち)の記憶—田辺寿男追悼写真展—

会期2010年11月6日~12月19日

絵金蔵で開催中の写真展、会期もあわずかとなりましたが、たくさんの方にお越しいただきました。国籍や世代の違う様々な方が笑ったり、考え込んだり...、お客様の反応から写真の持つ力を再認識させられた気がしま

す。また町の皆さまから、写真にまつわるたくさんのお思い出や、昔の習俗を教えてくださいました。このことと私たちにとって大きな収穫でした。そんな写真展の様子をピックアップしてご紹介いたします。



多摩美術大学・青木淳氏によるギャラリートーク(11月7日)
—優しくておかし、田辺先生を物語る抱腹絶倒のエピソード。写真の世界が広がりました。

ギャラリートーク

高知県立歴史民俗資料館・中村淳子氏によるギャラリートーク(12月5日)

—田辺先生に初めて会った時の厳しい印象、その後の長い付き合いのなかで感じられた温かいお人柄、「人の心の奥底を見つめたい」と言われた先生の写真への思いなど、興味深いお話が満載でした。



土佐民話と落語公演

市原麟一郎氏による土佐民話&落語公演



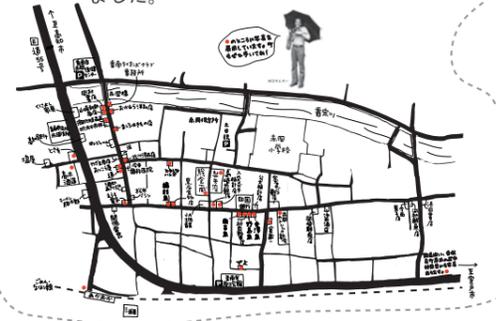
一赤岡町横町で行われた冬の夏祭りの真っ最中、いつもは「わりことしい」の子供たちも語りの世界にくぎ付け...



まちでの展示



町内の商店を中心に皆さまにご協力いただき、絵金蔵以外の26カ所に展示、町の風景とともに楽しんでいただきました。



美術館アトリエで開催された「私の中の卵の中の私」展。高知県立盲学校の生徒たちの個性豊かな作品を展示。もし自分のお腹に卵があったら、どんな形だろう...

香美市立美術館
生命(いのち)見つめて
大谷英文写真展

タマリン館 II後期
生命(いのち)に触れて
小田恵理子日本画展



可愛らしい子供たちの瞳に宿る強い光。まるで子供という存在のエッセンスが濃縮されたような作品群でした。



赤穂市立歴史博物館図録
『南国土佐の忠臣蔵—絵金が描いた芝居絵屏風—』
平成19年11月 定価 850円

『南国土佐の忠臣蔵』
高知県下の忠臣蔵を描いた芝居絵が一堂に!



ちゅうしんにどめのきよがき てらおかせつぷく
忠臣二度目清書 寺岡切腹

二曲一隻屏風/紙本著色/153.2×171.3cm
赤岡町横町二区所蔵

— あらすじ —

京都・山科の大星由良之助の侘び住まい。ここに妻お石と次男千代吉が召使お北とともに仇討ちの首尾を待っている。本懐を遂げたとのうわさが聞こえてきたところへ、お北の夫で、足軽の身でありながら四十七士の一人に加えられた寺岡平右衛門が帰ってくる。平右衛門は由良之助の命により仇討ちの一部始終を語る。由良之助を筆頭に、一同が乱れず立派に最期を遂げたこと、とりわけ16歳の一子力弥が笑みを浮かべながら見事に腹をかき切った様子を伝えると、涙する三人の前に由良之助と力弥の位牌を差し出す。

その後、平右衛門は力弥の幼い弟、千代吉が父や兄のあとを追って自分も切腹したい、どうやってするのか問うたところ、教えるそぶりをしながら実際に刃を腹に突き立てる。驚く一同に事の次第を伝え終わった今はもうこの世に望みはない、と告げる。

そこへ由良之助らの切腹の折、検使役を務めた石堂右馬之丞の家臣・金堂孫三郎が現れる。忠臣の血統を絶やさぬため、千代吉に領地三千石を与え、新開大三郎と改めさせたうえで家臣にとりたてると約束する。それを聞いたのち平右衛門は果て、妻のお北は剃髪し夫の冥福を祈る旅に出る。

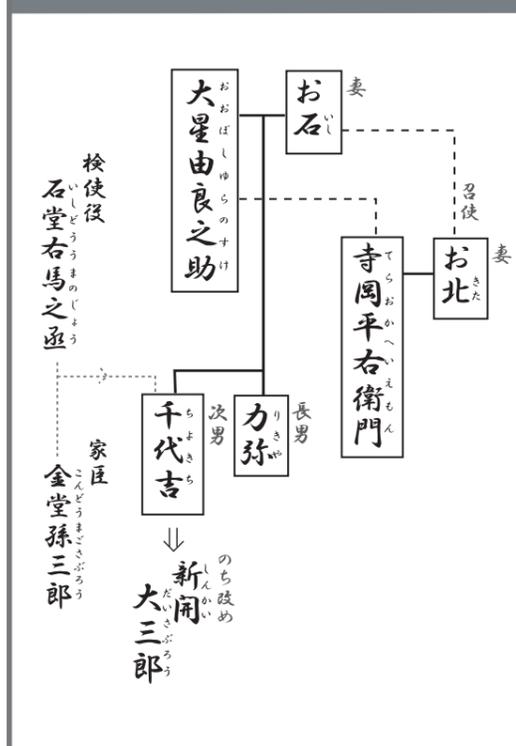
■ かはいの我が子や、懐かしの我夫。

位牌を受け取る大星由良之助の妻、お石。夫と息子の立派な最期を聞くと、位牌を抱きしめ「コレ申我夫、…力弥！」とまるで二人が活着しているかのように呼びかけます。「斯いふ別れにならふとは兼て覚悟のうへながらもしや今一度夫や子にまみえる事も有ふかと今の今まで楽しみし」と泣き崩れるのでした。

物語る小道具
～ 衝立 ～

衝立には絵金の隠し落款「友竹」が小さく施されています。闊達な筆さばきで描かれているのは葦と水鳥。

忠臣二度目清書 寺岡切腹 主要登場人物



■ その血脈の絶えんことを嘆き。

大星家のもとに向う侍の行列。平右衛門の死の直前、赤穂浪士たちの検使役を務めた石堂右馬之丞の家臣、金堂孫三郎が現れ「凡そ日本に又あるまじき忠臣義心其の血脈の絶えんことをいたく嘆き」三千石の新しい土地と、新開大三郎という新たな名を千代吉に与え、命を助けます。

旧暦2月4日に行われた赤穂浪士の切腹。この芝居でも季節は2月とされています。背景の雪と梅の花がいつそう悲しみを誘うよう…。

■ シテ御最期の其様子は。

平右衛門の妻で、大星親子に仕えるお北。本懐を遂げたとの夫の報告を聞き、待ちかねていたお北は「ヲ、こちの人お手柄進付皆様御機嫌よふお帰りなさるでござんしよふのふ。」と声をかけるのですが…。夫自害の後、お北は黒髪を落とし、夫の冥福を祈る旅に出ます。

■ 其切様はまづ此通り！

苦法の表情で位牌を渡す平右衛門。自らの役目を終えると、切腹の仕方を教えよという千代吉に「かしこい事よくおっしゃたのふ其切様はまづ此通り」と言うやいさなり腹に刃を突き立て、「冥途の供片時も早く進付ん」と言いながらキリキリ引き廻します。



物語る小道具～ 守り袋 ～

16歳で散った力弥が平右衛門に託した守り袋。「この守りは出立の折から母の手づから給はりしが片時肌身はなさずして朝夕母と拝みしや。母様にも此守りも力弥と思ふて給はれ。」と遺言を残しました。

■ おれも早ふ切腹したい。

父と兄の最期を聞き「どゝ様や兄様のご切腹なさったらおれも早う切腹したい。こりや平右衛門どうして(どうやって)きるの(じゃおしえてくれ)とけなげな覚悟を見せる千代吉。

平右衛門袂よりニツの位牌と守り袋お石が前に直し置、コレ是こそ則ち両御所のお戒名*1

「忠臣二度目清書」を語る
お北と寺岡からお石と衝立、千代吉に至る三角形をはねたような力強い構図で本懐を遂げた喜ばしい悲劇を前面に描き、円窓のなかの遠景で希望の使者を梅花とともに描く。三人が手にする二つの位牌が男根のようにも見えるのは、絵金の他作によく見られる性の崇拜と再生を暗示するのだから。後略

鍵詞 正誼「南国土佐の芝居絵(絵金忠臣蔵)」「南国土佐の忠臣蔵」
絵金が描いた芝居絵「赤穂市立歴史博物館、平成十九年三月」

【参考文献】
*1『義太夫浄瑠璃名作集』東京音楽会編 国華堂 1911年10月
*2『歌舞伎登場人物事典』白水社 2006年5月
*3『絵金展 土佐の芝居絵と絵師金蔵』高知県立美術館 1996年
*4『絵金蔵収蔵品目録』改訂版 香南市 2010年3月
*5近森敏夫『絵金読本』改訂版 香南市商工水産課 2006年3月

